

STAGE+を楽しむ(33)(HP 収載)

—マイヤーとベルリン・バロック・ゾリスデン—

1. 始めに

前報(32)に引き続き、STAGE+のマイヤーとベルリン・バロック・ゾリスデンの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、マイヤーとベルリン・バロック・ゾリスデンの演奏を選びました。

2023年6月4日 3:00

マイヤーとベルリン・バロック・ゾリスデンが奏でるバッハ
ベルリン・シーメンスヴィラ

1. 再配信 2023年6月4日 9:00

2. 再配信 2023年6月4日 20:00

ベルリン・フィルの“顔”ともいえるオーボエ奏者のアルブレヒト・マイヤー。幅広いレパートリーを誇るマイヤーはバロック音楽のスペシャリストでもあります。そんな彼がベルリン・バロック・ゾリスデンと共に、ヨハン・セバスティアン・バッハとその息子2人の音楽を中心としたプログラムをお届けします。大バッハのチェンバロ協奏曲第4番の新編曲や管弦楽組曲第3番の《エア》をはじめ、ヨハン・クリストフの《シンフォニアニ短調》、カール・フィリップ・エマヌエルのチェンバロ協奏曲第1楽章など多彩なプログラムをお楽しみください。

ソリスト:

アルブレヒト・マイヤー (オーボエ)

アンサンブル:

ベルリン・バロック・ゾリスデン

曲目:

ゴットフリート・ハインリヒ・シュテルツェル

《あなたがそばにいてくだされば》

(バッハの BWV 508 より、オーボエ、ヴァイオリン、

バロック・アンサンブル編曲版)

ヨハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハ

シンフォニアニ短調 WVF I:3

カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ

チェンバロ協奏曲ト長調 H. 412, Wq. 9 より第 1 楽章 : Allegro
(オーボエとバロック・アンサンブルのための編曲版)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

チェンバロ協奏曲イ長調 BWV 1055

(オーボエ・ダモーレとバロック・アンサンブルのための編曲版)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

《音楽の捧げもの》BWV 1079 より 6 声のチェルカーレ

ヨハン・セバスティアン・バッハ

管弦楽組曲第 3 番ニ長調 BWV 1068 より第 2 曲 : Air

(オーボエとバロック・アンサンブルのための編曲版)



3. 試聴の経過

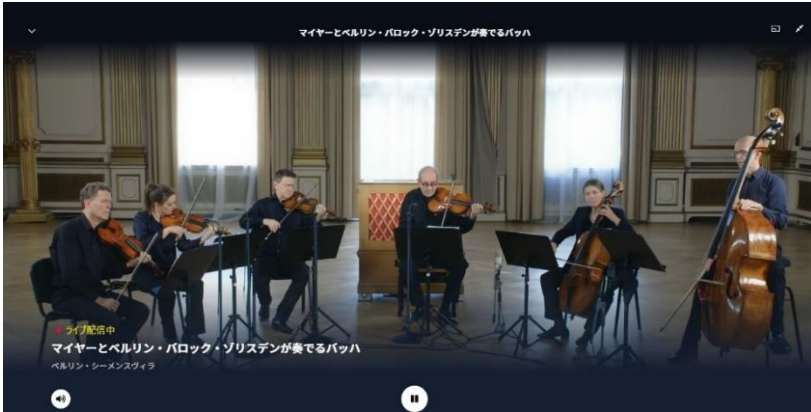
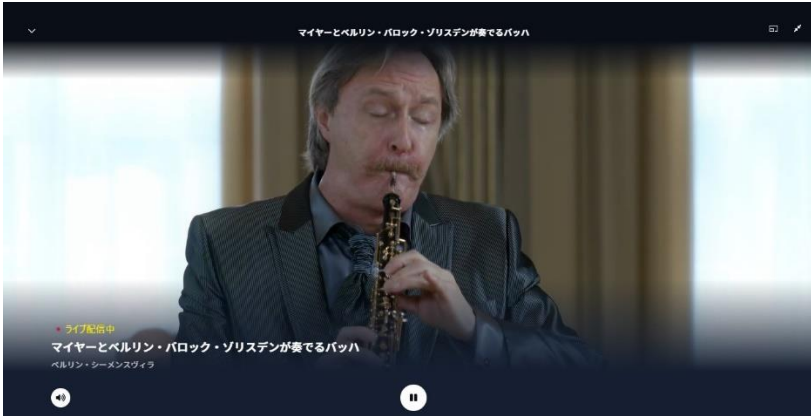
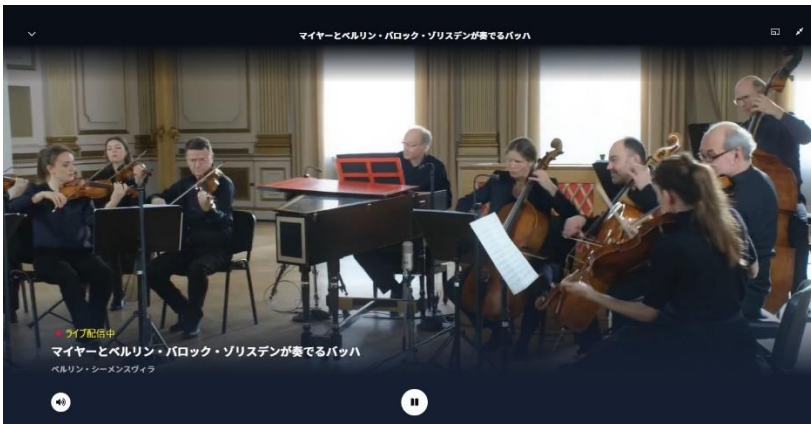
2023年6月4日 9:00の再配信を試聴しました。

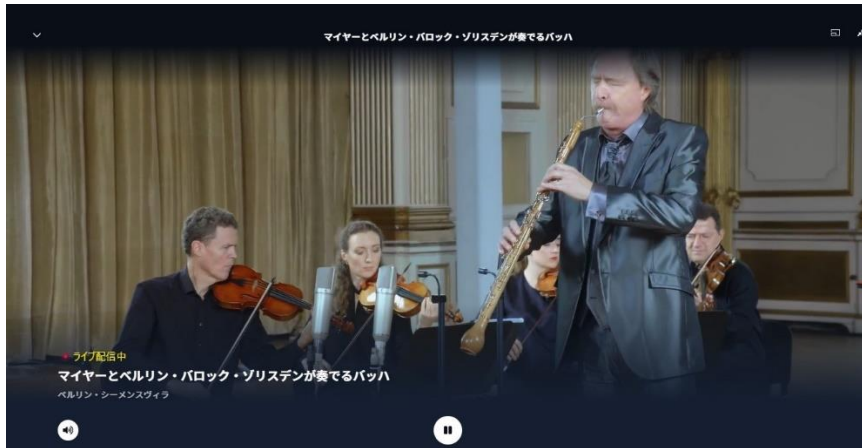
ベルリン・フィルの首席オーボエ奏者のアルブレヒト・マイヤーとベルリン・バロック・ゾリスデンのベルリン・シーメンスヴィラという雰囲気の良い小ホールのようなところでの演奏です。

曲目は、ヨハン・セバスティアン・バッハとヨハン・クリストフ・バッハとカール・フィリップ・エマヌエル・バッハの曲で、シンフォニアや6声のリチェルカーレの他、オーボエを中心にした編曲の演奏です。

馴染みの曲もいくつかあって、ソプラノのアリアやヴァイオリン曲からオーボエを中心にした編曲への面白さがあります。

オーボエの音はもちろん、アンサンブルの各パートの音もクリアーで、パッケージメディアでは味わえないステージ感のリアルさがあります。





4. まとめ

以上の STAGE+配信は、最新の収録の演奏で、収録環境もよく、それだけに音質的にも満足できるレベルでした。パッケージメディアでは味わえないステージ感のリアルさがあり、これまでの仮想アース、MRF-005T に加えてスピーカーアキュライザーの効果も確認できました。

以上